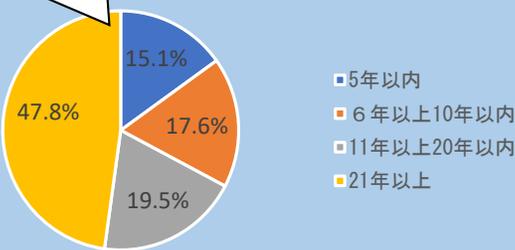
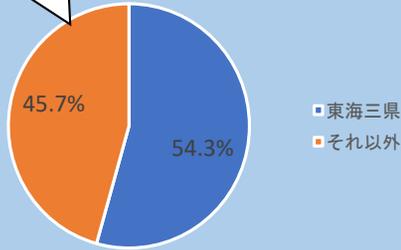


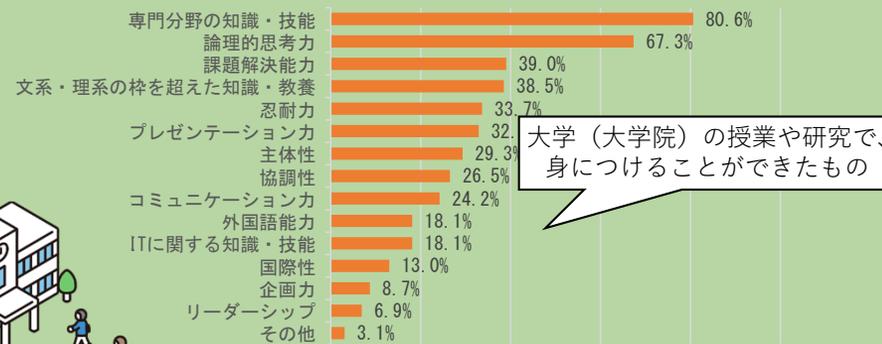
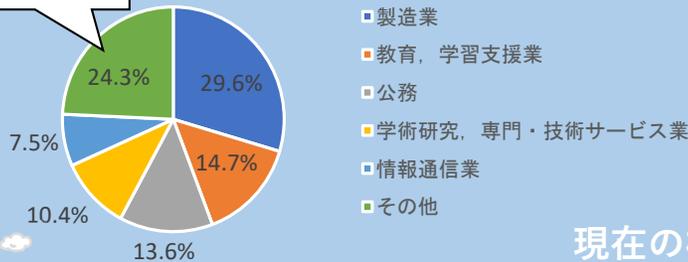
### 卒業（修了）後の年数



### 居住地

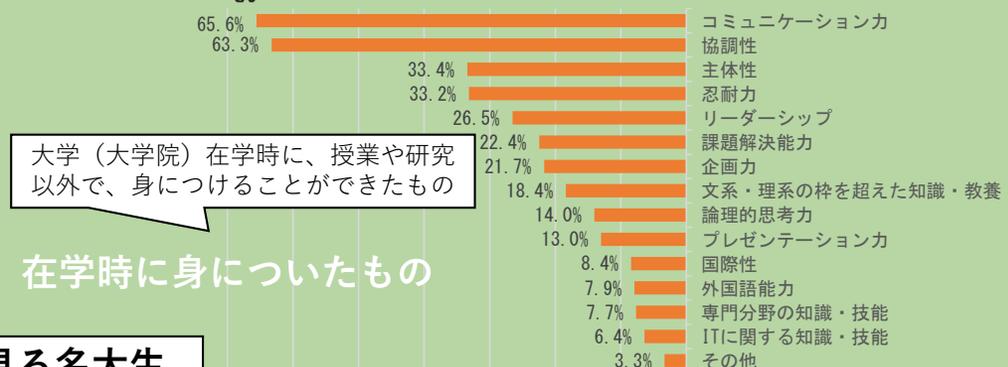


### 勤め先の業種



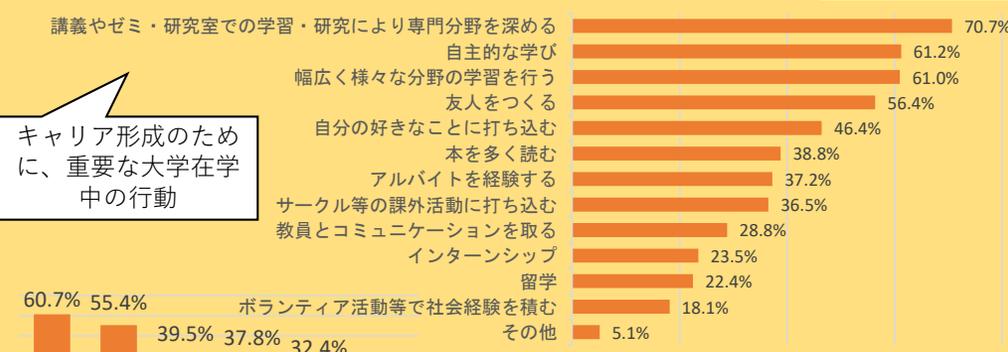
大学（大学院）の授業や研究で、身につけることができたもの

大学（大学院）在学時に、授業や研究以外で、身につけることができたもの

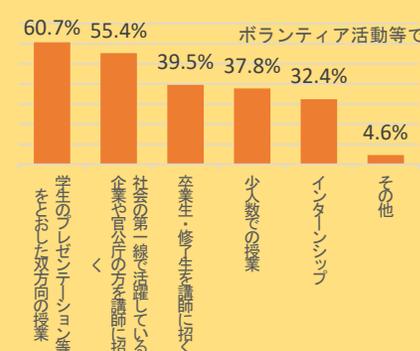


## 現在の様子 在学時に身につけたもの

## グラフで見る名大生 卒業後アンケート編

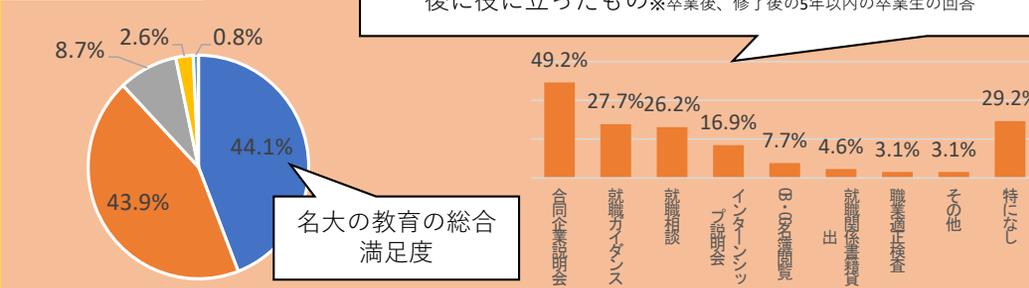


キャリア形成のために、重要な大学在学中の行動

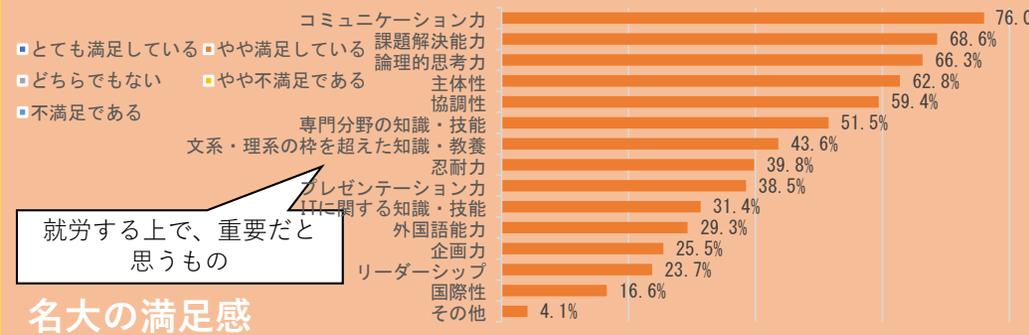


大学在学中にキャリア形成の意識を高めるために重要だと思う授業形態

## キャリア形成の意識 名大の満足感

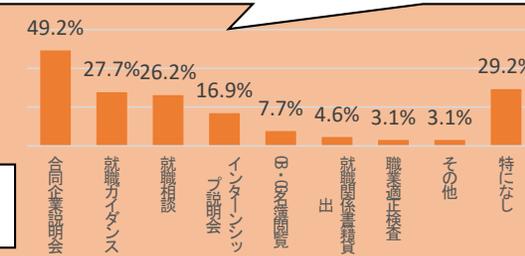


名大の教育の総合満足度



就労する上で、重要だと思うもの

在学中に実施された就職支援のうち、就職活動時や就職後に役に立ったもの※卒業後、修了後の5年以内の卒業生の回答



【調査概要】 本調査は、卒業生の就労状況及び在学中の教育効果を調査し、本学における教育及び就職支援の改善する目的で、名古屋大学の卒業生に対して実施された。名古屋大学から卒業生に送付される郵送物のなかに、本アンケートのURLおよびQRコードを記載したチラシを封入した。回収期間は2022年8月から9月であった。そのうち男性は63.0%、女性は35.2%、回答しない・その他は1.8%であった。卒業・修了（または満期退学）時の国籍は日本が98.7%、その他が1.3%であった。名古屋大学卒業後、修了後5年以内の者は16.6%であった。